

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	株式会社ダゲレオ出版
プロジェクト名	映画・映像キュレーションの次世代を担うコア人材育成プロジェクト

基本情報

対象分野	映像	対象となる職種	映画・映像キュレーター
------	----	---------	-------------

プロジェクトの概要（案）

映画キュレーターの育成のため、国内有数の映像アーカイブである福岡市総合図書館や、日本に比べて豊富な知識と活用事例を持つ欧州の組織と連携し、映像アーカイブやその活用に関する実習・講義を行う。また、アーカイブ構築が急速に進み、その活用の議論が活発なアジア各国から、実務経験のあるキュレーターをカウンターパートとして迎え、アーカイブ活用や映像キュレーションにおける最新の課題や展望を協働しながら学ぶ機会を創出する。さらに育成対象者が、アジアにおける日本映画に対する理解やニーズを学び、将来の協働が可能になるようなネットワークの礎を築けるよう育成する。本事業の成果として上映プログラムを作成し、アジアの美術館・映画祭で発表する。

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み



映画・映像分野において日本では海外に比してキュレーター、上映従事者等の年齢層が高い。そうした人材に実務の依頼やネットワーキングの機会が集中し、新しい人材の参入の機会が限られている。そのため、今後の海外での日本映画・及び映像作品のプレゼンスの

ためには、目的に応じて適切に映画を評価し、専門知識を持って映画祭などで活躍できる若手の人材の成長を促すことが急務である。また、育成された人材は業務を行いつつ、人脈の形成や情報の収集を長期に渡り行っていく場合が多く、少数の精鋭が長く活躍できる状況が業界的に存在する。

期待される成果や波及効果

国内アーカイブ組織や海外での研修を通じて、高度な専門知識を得るとともに、海外での映像活用の事例などについて理解を深め、国際的な活動を展開するための知見とネットワークを形成する。アジア圏のカウンターパートとの協働を通じて海外の視点を取り入れ、国際協業に必要な実践力と行動力を養う。育成対象者が海外で活動することで新たな道を開き、次世代の日本人映画キュレーターの海外進出を促す波及効果も期待する。さらに、海外で日本映画の上映を企画するなど継続的な活動を通じ、日本映画の認知度やプレゼンスを高め、上映機会や海外展開の拡大、増進の機会につなげる。

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

今回の事業を通じて得た知見やノウハウは報告書を作成し頒布する。福岡市総合図書館などの関連するアーカイブ組織で継続的にワークショップや講座などの実習や講演等を開催し、映画キュレーターに関する人材育成の重要性を訴えていく。また、映画、映像関連の大学や、各地で開催される映画祭などを対象に、関連したワークショップなどの実施機会を増進するための提案、提言を行っていく。



目標達成までのロードマップ（案）

1年目

- 第1期育成対象者の募集、決定
- 第1期国内研修（福岡市総合図書館のアーカイブを利用した研修、東京での有識者等による講義、研修）
- 第1期福岡研修報告会

2年目

- 第1期海外研修（Eye Filmmuseum、オランダ）
- 第1期上映プログラム作成等成果発表指導
- 第1期海外成果発表（Yogyakarta Asian Film Festival、インドネシア）
- 第2期育成対象者の募集、決定
- 第2期国内研修（福岡市総合図書館のアーカイブを利用した研修、東京での有識者等による講義、研修）
- 第2期福岡研修報告会

3年目

- 第2期海外研修（Arsenal Institute for Film and Video Art、ドイツ）
- 第2期上映プログラム作成等成果発表指導
- 第2期海外成果発表（検討中）
- 成果発表冊子制作（2期共通）
- 最終報告会（2期共通）

実施体制（案）

